おむすびハウス通信

2021.7.
第４号

2021年コロナ禍でのおむすびハウスの活動

～つながりを絶やさないためのオンライン活動！～

世界中が、新型コロナウィルス感染症という惨禍にみまわれ、未だ収束せず、自粛生活も2年目になりました。おむすびハウスも国の緊急事態宣言が発出される度に、活動をお休みし、市内の公共施設の再開状況を見ながら再開したりして、断続的に活動を続けてきました。

公共施設でもない、おむすびハウスは、シニアのボランティアで運営している市民団体なので一度活動を停止したら、皆さんの気持ちも冷めてしまい再開は困難と思われました。そこで、せっかく、できてきた地域のつながりを絶やさないために、感染対策に細心の注意を払って、密にならず少人数でできる対面での活動とオンラインでの活動などを工夫して行い継続させていくことを運営委員の皆さんで相談しました。

そこで、運営委員がZoom講習会を数回開催し、50名以上の人たちがZoomでつながることができるようになり、そして運営委員が交代で講師となり、様々なテーマでオンラインおむすびカルチャーも開催し、各自宅からとおむすびハウスで少人数の視聴もできるようにしてハイブリットで行うようにしました。

高齢者の皆さん、Zoomは、難しいかと思っていましたが、とても意欲的で、自宅で眠っていたパソコンやタブレットなども使えるようになり、大変、喜んでいただいています。

おむすびハウスは、近所で来やすいと言う方も結構いらっしゃいます。日々の健康維持に気を付けてお互いに声をかけ合いながら共にコロナ禍を乗り超えていきましょう。

おむすびハウス　　藤原雅子

お庭でサロン　～フルートやコカリナ、ギター演奏、紙芝居で心も癒やされました～

現在の状況下で、密にならず活動を再開するには？と考え、庭で時間を短く、声も出さずに聴くという形、入替制で２回の演奏会を行うことになりました。

4月24日は、村岡孝子さんのフルート演奏、5月22日は、南多津子さん、下山登世子さんのコカリナ演奏、ICUのサービスラーニングの学生さんたちもギター、フルートを演奏してくれました。6月8日のお庭でサロンは、木部茂徳さんが懐かしい紙芝居「瞼の母」を熱演されました。

今まで、参加された方々が来て下さいました。早く、以前の状態に戻り声を出して歌える事ができるのを心待ちにしています。

また、お庭(お部屋)でサロンでは「地域包括支援センターの方に来ていただいて、気軽に、介護保険などのお話を伺います。

毎月第2火曜日13:30～15:30です。

「おむすびハウス」は、地域に対して開かれた「居場所」のようなところだと感じました。その特徴は、多様な人を受け入れる間口の広さと、居心地の良さだと思います。運営スタッフの方々は参加される方にいかに楽しんでもらい、和んでもらうかということを考えて活動の準備や進行をしており、その努力がおむすびハウスの居心地の良さを生み出していると思います。
（国際基督教大学　斎木さん）

「岡さんのいえ」との交流会（2021年4月18日）

世田谷区にある「岡さんのいえTOMO」運営理事の方々と一般財団法人世田谷トラストまちづくりの職員の方がおむすびハウスに来られました。

岡さんのいえは、2007年にオーナーの小池さんが、叔母様から築70年の家を引き継ぎ、地域のお茶の間として交流の場づくりを先駆的に行い13年になります。おむすびハウスが2017年にオープンする際に見学させて頂き大変、お世話になりました。

今回、お互いにコロナ禍でどのように活動を継続しているか、ボランティア活動での運営費や人材確保の苦労など共通する課題も多く、貴重な意見交換をすることができました。

岡さんのいえのお話を伺って大変参考になり、勇気を頂き、こうして小池さんとも再開でき、本当に嬉しく思いました。また、ボランティアフォーラム参加にお声をかけてくださり、交流会を設定してくださった世田谷トラストまちづくりの山田さんに感謝いたします。（藤原）

おむすびハウスの玄関前で記念撮影

東京ボランタリーフォーラムでの報告スライド（藤原佳典先生発表）

東京ボランタリーフォーラムへの参加（2021年2月13日）

東京ボランタリーフォーラムにおいて、コロナ禍の居場所について報告しました。山田 翔太さん（一般財団法人世田谷トラストまちづくり）の司会進行で、 藤原 佳典先生（東京都健康長寿医療センター研究所）、望月 美智子さん（まちナカ・コミュニティ 西荻みなみ）とで活動報告を行い、コロナ禍での居場所づくりについて、休止や縮小しながらでも活動を行うことの大切さ、意義、創意工夫をしてきたことを話し合いました。他者との取り組みの連携が必要だということを再認識しました。（大久保）

秋の講演会の予告

会場での講演とともにZoomによるオンライン視聴あり

1	9月26日(日) 14:00～15:30	三鷹市市民協働センタ（三鷹市民活動・NPOフォーラムの一環として講演）	題目「音楽よもやま話　音楽にジャンルってあるの？ ～元日フィル奏者によるおもろい話～」
			講師：新井　豊治氏（元日本フィルハーモニー交響楽団 員）
2	11月13日(土) 14:00～15:30	元気創造プラザ4階ホール	題目「まちづくり講座～コロナ禍のコミュニティはどうかわるか～」
			講師：中村　陽一氏（立教大学教授、社会デザイン研究所所長）

この講座は令和3年度高齢者自主グループ講師派遣団体として三鷹市から助成を受けて実施するものです。

コロナ禍の収束を見据えて今後もZoomの活用と少人数による対面活動で地域の居場所としてのおむすびハウスを続けていきます。今後の予定の詳細については、おむすびハウス入り口のカレンダーのチラシやおむすびハウスのホームページをご覧ください。

運営委員会もZoomで行っています

コロナ禍だからこそ人との和が欲しい

私の自宅近くに気軽に参加できるおむすびハウスがあり何とありがたいことでしょう。引っ越して来た時、不安がいっぱいの私を救ってくださったボランティアの方々に心から感謝。自分がもう少し元気になったら何か皆様のお手伝いができるのを夢見ています。門を入れば季節の花が迎えてくれます。講師の話を耳に空からも小鳥のさえずりが、参加者のおしゃべりから身になるお話が。部屋の窓からのお庭を眺めて、コロナ禍で帰郷できないけれど故郷を懐かしみ癒されます。
（新屋さん）

川柳答え　①文句　②送別　③妻

おむすびハウス通信　第4号（2021.7.）
編集・発行　おむすび倶楽部友の会
東京都三鷹市下連雀１－１０－２０　０４２２－４６－４１１７
e-mail: omusubimitaka@gmail.com（藤原）
Facebook: おむすびハウス三鷹
HP :https://omusubihouse.sakura.ne.jp/